

全国大学ビブリオバトル2025
予選会 開催レポート
(各ブロック予選・ブロック決戦主催団体の情報)

関東ブロック

全国大学ビブリオバトル 2025 運営事務局

各予選会主催団体の報告

<関東 A ブロック決戦>

ブロック決戦主催団体:茨城県ビブリオバトル実行委員会

開催日時:2025年11月9日(日) 11:30~12:30

開催場所:茨城県立図書館視聴覚ホール

https://x.com/toshokun_tokiwa/status/1988878266095046712



としよくん@常磐大学情報メディアセンター(図書館)公認キャラク... @toshokun_tokiwa

ビブリオバトル茨城決戦大会が11/9に県立図書館で行われたYO!常磐大学代表の廣木さんは惜しくも敗退しましたが、大学予選より更に多い観客の前でもナイス善戦だったYO👍

茨城決戦を勝ち抜いた茨城大学の角田さんは、11/23に長崎で開催される全国大会に出場されます。皆で応援しYO!

#ビブリオバトル



<https://www.lib.ibaraki.ac.jp/blog/?id=254>

全国大学ビブリオバトル2025茨城決戦大会が行われました

2025年11月9日(日)茨城県立図書館視聴覚ホールにおいて、いばらき読書フェスティバル2025の催しの一つとして全国大学ビブリオバトル2025茨城決戦大会が行われました。

県内5大学(茨城大学、筑波大学、常磐大学、茨城キリスト教大学、茨城女子短期大学)で開催された各予選会でそれぞれチャンプ本を獲得した学生5名の皆さんが集まり、本学からは人文社会科学部の角田裕一朗さんが参加しました。

エッセイ、絵本、星新一のショートショート集など多彩な本が紹介され、会場からはたくさんの質問が寄せられて、大いに盛り上がりました。

オーディエンスによる投票の結果、チャンプ本は、本学人文社会科学部の角田裕一朗さんが紹介した小説「渚にて 人類最後の日」(ネヴィル・シュート作)に決定しました!



<各予選会>

① ブロック予選主催団体:茨城大学図書館

開催日時:2025年10月15日(水) 13:10~14:55

開催場所:茨城大学図書館ライブラリーホール

<https://www.lib.ibaraki.ac.jp/blog/?id=252>

ビブリオバトル in 茨城大学 2025を開催しました

2025年10月15日(水)に図書館ライブラリーホールにおいて、ビブリオバトル in 茨城大学 2025を開催しました。

今年は6名のバトラーが熱戦を繰り広げました。120名以上の方が観覧し、会場となったライブラリーホールは観覧参加者でいっぱいとなりました。

バトラーは5分間でおすすめの本を紹介し、3分間のディスカッションタイムでは会場からたくさんの方の質問が寄せられ、大いに盛り上がりました。

チャンプ本は人文社会科学部の角田裕一朗さんの紹介した「渚にて 人類最後の日」でした。

角田さんのコメント「人類は、その最後の命が消える時、どんな光景を見るのか…。核戦争によっていずれ死に絶える運命に立たされた人類は、日々その影を感じながらも、安らかに明るく暮らしています。ですがその姿はせつないもので、我々はこうなってしまうていいのか?と頭に疑問が沸いてきます。先の見えない世界を生きる我々が後世に残すべきSFの大傑作を是非、ご覧下さい!」

角田さんは11月9日(日)に茨城県立図書館で開催される茨城ブロック決戦に参加します。

バトラーおよび紹介された本(発表順)

福田 純さん 「ウマはかける」大桃洋祐

武田 侑大さん 「新世界より」貴志祐介

角田 裕一朗さん 「渚にて 人類最後の日」ネヴィル・シュート

鹿糠 青空さん 「『好き』を言語化する技術」三宅香帆

渋谷 英留真さん 「王とサーカス」米澤穂信

半田 彩子さん 「人生はワンチャンス」水野敬也



チャンプ本を獲得した角田さん



参加した6名のバトルー

② ブロック予選主催団体:茨城女子短期大学

開催日時:2025年10月17日(金) 12:40~14:10

開催場所:茨城女子短期大学 1号館視聴覚室

<https://www.instagram.com/p/DP6ldg-EbO5/>



iwjc_nadeshiko ・フォローする
茨城女子短期大学

...



iwjc_nadeshiko 1週間前

10月17日金曜日に「全国大学ビブリオバトル 2025 in ながさきピース文化祭 関東Aブロック 茨城女子短期大学予選会」が催されました。

本年は6名のバトルーが参戦し、お勧め本の投票において、上位2名の紹介本が同点1位となり、決選投票の上、本学表現文化学科2年菅谷優さんが紹介した谷川俊太郎著、安野光雅装画『すき好きノート』（アリス館）がチャンプ本になりました。

菅谷さんは11月9日に茨城県立図書館視聴覚ホールで催される「茨城決戦大会」に出場します。
是非場内でより多くの人たちに本の魅力を伝えてもらいたいです。

③ ブロック予選主催団体:筑波大学ビブリオバトル実行委員会

開催日時:2025年10月9日(木)、14日(火)、22日(水)

開催場所:春日エリア内 ビブリオバトルスタジオ

<https://x.com/bibliotsukuba/status/1981240797501805023>



筑波大学ビブリオバトル実行委員会
@bibliotsukuba



昨日は大学ビブリオバトル筑波大学予選決勝お疲れ様でした！今回のチャンプ本は、「恋できみが死なない理由」が選ばれました！筑波大学からはこちらを紹介したバトラーが茨城県大会に出場致します！
現地で、YouTube配信でご観覧くださいだった皆さん、ありがとうございました！



④ ブロック予選主催団体:茨城キリスト教大学

開催日時:2025年10月21日(火)14:20~15:50

開催場所:大学図書館2Fラーニングコモンズエリア

<https://www.icc.ac.jp/about/facility/library/news/detail/2025-10-22.html>

IC 茨城キリスト教大学

—— ビブリオバトルを開催しました

2025年10月21日(火)に図書館2階ラーニングコモンズにて「ビブリオバトル2025」が行われました。

たくさんのオーディエンスに集まっていただき、大いに盛り上がりました。

紹介された本

タイトル(著者)	所属	発表者
ちょっと今から仕事やめてくる(北川 恵海)	食物健康科学科 4年	高田 妃美香
不道德教育講座(三島 由紀夫)	文化交流学科 2年	園部 恵美子
世界から猫が消えたなら(川村 元気)  チャンプ本	現代英語学科 2年	森川 寛仁
二番目の患者(林 木林)	現代英語学科 4年	堀江 真里那
さみしい夜にはペンを持って(古賀 史健)	心理福祉学科 3年	鈴木 萌



チャンプ本

チャンプ本は 現代英語学科2年 森川 寛仁さんの紹介した
 「世界から猫が消えたなら」(川村 元気 著) です。
 おめでとうございます！
 森川さんは昨年に引き続き、2年連続のチャンプとなりました！

⑤ ブロック予選主催団体:常磐大学

開催日時:2025年10月31日(金)14:40~16:10

開催場所:常磐大学Q棟(図書館)

<https://www.tokiwa.ac.jp/info/251106/>



「全国大学ビブリオバトル2025」の常磐大学予選会 が開催されました

10月31日(金)に本学Q棟(図書館)内のカフェテリアにて、「全国大学ビブリオバトル2025」の常磐大学予選会が開催されました。

ビブリオバトルは、発表者(パトラー)たちが持ち時間5分で自分が選んだ本の魅力をプレゼンし、参加した観客(オーディエンス)が一番読みたくなった本(チャンプ本)を投票で競う書評合戦です。

今回の予選会で一番多くの票を集めてチャンプ本となったのは、人間科学部4年の廣木康太さんが発表した『未来いそっぶ』(星新一:著)でした。

廣木さんはこの本について「人間の本质について、インソップ物語を彼風に淡白に改編することにより描いていて、それだからこそ初版から40年以上たった現在の私たちが読んでも当てはまるどころがある」と語りオーディエンスの共感を得ていました。オーディエンスとしてご参加いただきました皆様もありがとうございました。



廣木 康太さん



発表者のみなさん



発表本

学部	学科	氏名	学年	発表本タイトル	作者
人間科学部	心理学科	井桁 さやか	2年	きみはいい子	中脇 初枝
総合政策学部	総合政策学科	小川 遥行	2年	レッドサンブラッククロス外伝 戦艦ヒンデンプルグの最期	佐藤 大輔
人間科学部	コミュニケーション学科	南波 宏紀	3年	フーガはユーガ	伊坂 幸太郎
人間科学部	現代社会学科	廣木 康太	4年	未来いそっぷ	星 新一

<関東 B ブロック決戦>

ブロック決戦主催団体:彩の国大学生ビブリオバトル実行委員会(主催)、さいたま市立中央図書館(協力)

開催日時:2025年10月19日(日)14:00~15:00

開催場所:さいたま市立中央図書館

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/index.cgi?mode=notice_view&key=472



ビブリオバトル関東Bブロック決戦に出場しました

2025年10月19日(日)、さいたま市立中央図書館にて開催された「ビブリオバトル関東Bブロック決戦」。9/27(土)秋草祭1日目に実施された学内決勝戦で優勝した文化表現学科1年の学生が出場しました。

本大会には、関東エリアの各予選を勝ち抜いた代表者が集結し、会場は大きな熱気に包まれました。本学の学生は、惜しくも全国大会への切符は逃したものの、堂々とした発表で会場を魅了。他大学の先輩たちと積極的に交流し、多くの刺激を受けて帰ってきました。



https://x.com/view_kun/status/1980077188964835560



昨日、全国大学 ビブリオバトル 2025関東Bブロック決戦が、さいたま市立中央図書館さんで開催されました。

本学から出場した日本文化学科4年の小久保さんの紹介した『死にがいを求めて生きているの』（朝井リョウ著）がチャンプ本に選ばれました。

小久保さん、全国大会本戦も頑張ってください！



<各予選会>

① ブロック予選主催団体:聖学院大学総合図書館

開催日時:2025年7月16日(水) 12:10-12:55

開催場所:聖学院大学総合図書館

<https://www->

[uf01.ufinity.jp/seiglib/blogs/blog_entries/view/40/d10ca9f55ac4306e435492b5a4de7f93?frame_id=31](https://www-uf01.ufinity.jp/seiglib/blogs/blog_entries/view/40/d10ca9f55ac4306e435492b5a4de7f93?frame_id=31)

聖学院大学総合図書館ポータル

全国大学ビブリオバトル2025 ブロック予選報告

2025年7月16日(水) 昼休み、図書館4階閲覧室にて「全国大学ビブリオバトル2025 関東Bブロック予選」を開催しました。

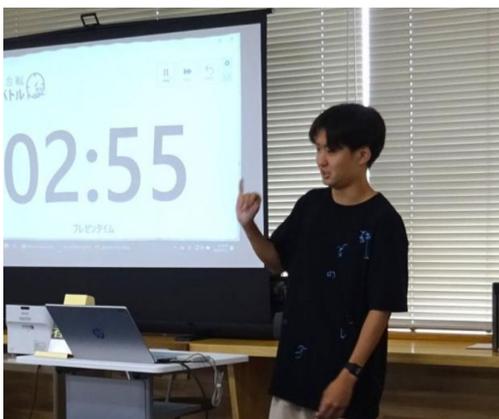
一人目のパトラーは、日本文化学科4年の齊藤さん。
紹介したのは、瀬尾まいこ著「あと少し、もう少し」



二人目のパトラーは、国際文化学科3年の真崎さん。
紹介するのは、山田詠美著「蝶々の纏足」



三人目のパトラーは、日本文化学科4年の小久保さん。
紹介するのは、朝井リョウ著「何者」



投票では、2冊が同票ということで決選投票となりました。
 決選投票の結果、小久保さんの紹介した「何者」がチャンプ本に選ばれました。
 小久保さん、おめでとうございます！

チャンプ本を獲得した小久保さんは、10月に開催される関東Bブロック決戦に出場します。
 ブロック決戦でも素晴らしい発表をされることを期待しています。



② **ブロック予選主催団体: 聖学院大学人文学部欧米文化学科**

開催日時: 2025年7月11日(金)、7月18日(金) (2階層)

開催場所: 聖学院大学総合図書館

③ **ブロック予選主催団体: 秋草学園短期大学**

開催日時: 2025年7月8/14/15日 12:10~、9月27日(土) 13:30~

開催場所: 秋草学園短期大学構内

④ **ブロック予選主催団体: 城西大学水田記念図書館**

開催日時: 2025年10月9日(木) 15:40~

開催場所: 城西大学水田記念図書館 1階グループワークエリア

https://libopac.josai.ac.jp/top/whatsold6.htm#251015_1

2025/10/15

「全国大学ビブリオバトル2025 ブロック予選 城西大学」を開催しました。

10月9日(木)、リニューアルオープンした坂戸キャンパス図書館1階のグループワークエリアで「全国大学ビブリオバトル2025 ブロック予選 城西大学」を開催し、合計44名の方が今年のバトルを見届けました。5名が発表し、すべての発表を聞いた観客による投票の結果、今年度は『このオムライスに、付加価値をつけてください』がチャンプ本に選ばれました。

紹介本 (発表順)	発表者
『このオムライスに、付加価値をつけてください』 柿内尚文著 チャンプ本	十文字学園女子大学 教育人文学部 児童教育学科2年 笛木さん
『プロジェクト・ヘイル・メアリー』 アンディ・ウィア著; 小野田和子訳	城西大学 経営学部4年 幡谷さん
『長野〈東北信〉は観光で輝く』	城西大学 現代政策学部3年 丸山さん
『うまくやる: コミュニケーションが変わる25のレッスン』 熊野森人著	城西大学 現代政策学部4年 大川さん
『梅子と旅する。: 日本の子教育のバイオニア』 フォレストブックス編集室編; 熊田和子執筆; フォレストブックス編集室執筆 準チャンプ本	城西大学 理学部数学科4年 川上さん



<関東Cブロック決戦>

ブロック決戦主催団体: 帝京大学メディアライブラリーセンター

開催日時: 2025年10月25日(土) 13:00~

開催場所: 帝京大学メディアライブラリーセンター (MELIC) BF メディアラウンジ

<https://www.teikyo.jp/melic/kyodoku-station/event/biblioteikyo251025>

「全国大学ビブリオバトル2025」関東C
ブロック決戦 in 青舎祭

—「全国大学ビブリオバトル2025」関東Cブロック決戦—結果発表!

10/25(土)13:00~開催した「全国大学ビブリオバトル2025」関東Cブロック決戦。
熱戦の結果、本戦への出場者が決まりました!

ブロック決戦を戦ったのは、
立正大学 1年 兎澤友紀さん、
帝京大学 4年 大橋千怜さん、
千葉大学 2年 山坂日菜子さん、
東海大学 3年 西田珠紀さんの4名。
チャンプ本は立正大学 兎澤友紀さんが紹介した『地球星人』となりました!

■結果

No	本 ★…チャンプ本	バトル
01 	★ 『地球星人』 村田沙耶香 著, 新潮社, 2018 4F 和図書(913.6/Mu-59)	兎澤 友紀 (立正大学)
02 	『芸人短歌』 井口可奈 著, 笠間書院, 2024 4F 和図書(911.167/I-24)	西田 珠紀 (東海大学)
03 	『藍の季節が始まる』 福田和代 著, 光文社, 2022 MELIC所蔵なし	大橋 千怜 (帝京大学)
04 	『聖なる息け者の冒険』 森見登美彦 著, 朝日新聞出版, 2016 4F 和図書(913.6/Mo-54)	山坂 日菜子 (千葉大学)

<各予選会>

① ブロック予選主催団体：創価大学附属図書館

開催日時：2025年9月3日（水）13:30～15:00

開催場所：創価大学中央図書館1階ラーニング・commons

<https://lib.soka.ac.jp/nheo3t0000002yyyy.html>



<開催レポート>「全国大学ビブリオバトル2025 関東Cブロック予選会」を開催しました！

2025年9月3日（水）、中央図書館1階 ラーニング・commonsにて、「全国大学ビブリオバトル2025 関東Cブロック予選会」を開催しました。

東京都内の大学から集まった6名のバトラーがそれぞれのおすすめ本を紹介し、熱いバトルを繰り広げました。

全員の発表後、「どの本が一番読みたくなったか」を基準に参加者が投票を行い、チャンプ本には立正大学文学部1年兎澤友紀さんが紹介した村田沙耶香著『地球星人』が選ばれました。

【ビブリオバトルで紹介されたおすすめ本】※順不同
やなせたかし著『わたしが正義について語るなら』
スペンサー・ジョンソン著『チーズはどこへ消えた?』
野崎まど著『タイタン』
アンディ・ウィアー著『プロジェクト・ヘイル・メアリー』
村田沙耶香著『地球星人』
ほしおさなえ著『活版印刷三日月堂 星たちの菜』



ビブリオバトルの様子

② ブロック予選主催団体:東海大学文化社会学部広報メディア学科 増田ゼミ

開催日時:2025年10月13日(月)

開催場所:東海大学3号館研究室

<https://www.u-tokai.ac.jp/ud-cultural-and-social-studies/news/25654/>



広報メディア学科・増田ゼミで「全国大学ビブリオバトル2025」を目指した予選会を開きました

文化社会学部広報メディア学科の増田芽衣教授のゼミナールでは、10月13日に湘南キャンパスで「全国大学ビブリオバトル2025」に向けた予選会を開催しました。ビブリオバトルは、バトルと呼ばれる参加者がおすすめの本をアピールし合い、発表を聞いた参加者が最も興味を持った本に投票。最多票を集めた本が「チャンプ本」となる知的書評合戦です。「全国大学ビブリオバトル」は活字文化推進会議等が主催し、全国各地の大学などさまざまな団体が開くブロック予選を勝ち抜いた大学生・大学院生が出場します。

今年度から本学科に着任した増田教授のゼミでは、春学期から課題の一つとしてビブリオバトルに関する活動を開始。本の選定やプレゼンテーションの練習などを重ねてきました。今回の予選会はこれまでの成果を発揮し、全国大会につなげようと企画したものです。他学部他学科の学生にも参加を呼びかけ、文学部日本文学科の学生1名も参加した当日は、まず5、6人ずつの3グループに分かれて1回戦を実施。一人5分間の持ち時間で、選り抜いた本の内容や魅力を語りました。終了後には3分間の質疑応答も行い、「なぜその本を選んだのか?」「より詳しい内容を教えてください」といった質問にそれぞれが丁寧に回答し、最後にグループごとにチャンプ本を選びました。



2回戦では会場を14号館の教室に移し、1回戦に出場していた学生が履修している文化社会学部文芸創作学科の授業「編集と出版」の履修学生35名と担当する川口好美講師らを前に、1回戦を勝ち抜いた3名がプレゼンテーションを行いました。まず4年次生の高橋美月さんが『店長がバカすぎて』（早見和真著・ハルキ文庫）を紹介。自らのアルバイト先での体験も交えながらあらすじや作品のポイントを語りました、続いて柴崎翔太さん（3年次生）が『最後の秘境 東京藝大 天才たちのカオスな日常』（二宮敦人著・新潮文庫）に次々と登場するユニークな人物について、その魅力を熱弁しました。最後に登壇した西田珠紀さん（同）は、『芸人短歌』（井口可奈編著・笠間書院）についてプレゼン。若手からベテランまで32名の芸人が詠んだ短歌が収録された同書との出会いや、短歌一つひとつの感想、自らの心境の変化を余すことなく語りつくしました。



聴衆による投票の結果、チャンプ本には西田さんが紹介した『芸人短歌』が選出。10月25日に帝京大学で開かれる「関東Cブロック決戦大会」への進出を決めました。ここで勝ち抜くと11月23日に長崎県・アルカス佐世保で開催される「全国大学ビブリオバトル in ながさきピース文化祭2025（第16回全国大学ビブリオバトル）」の出場権を獲得できます。西田さんは、「学内大会で優勝できて率直にうれしいです。ゼミで練習を重ねる中で何を伝えるべきか分析し、言葉にした際にどのように伝わるか考えてきた成果を出せました。経験を積んで次の大会でも勝ち抜けるよう頑張りたい」と語りました。また、惜しくもブロック決戦大会への出場を逃した高橋さんは、「自分が面白いと思った本の魅力を伝えられたと思います」と語り、柴崎さんも「広報メディア学科のラジオプロジェクトで活動しているのでしゃべるのは得意。最後は『本をどれだけ深く読み込んでいるか』で差がついたと思います。また挑戦したい」と笑顔で語りました。

③ ブロック予選主催団体:帝京大学メディアライブラリーセンター

開催日時:2025年10月9日(木) 18:30~19:30

開催場所:帝京大学メディアライブラリーセンター

https://x.com/Teikyo_MELIC/status/1976586749196587247



帝京大学メディアライブラリーセンター (MELIC)
@Teikyo_MELIC



10/9 (木) 開催した #ビブリオバトル
「第11回 #共読サポーターズ 代表決定戦 決勝」

＼👑チャンプ本は👑／
大橋千怜さん(法律学科・4年)が紹介した
『#レモンと殺人鬼』(#くわがきあゆ 著)です!

大橋さんは、10/25(土)開催の #全国大学ビブリオバトル 関東Cブロック 決勝に出場します。



④ ブロック予選主催団体:千葉大学ビブリオバトル実行委員会 A

開催日時:2025年10月21日(火)14:30~

開催場所:千葉大学

<関東Dブロック決戦>

ブロック決戦主催団体:群馬県大学図書館協議会

開催日時:2025年11月2日(日)15:00~16:30

開催場所:群馬県立図書館

https://www.tuc.ac.jp/news/2025/251111_2500.html



高崎商科大学
高崎商科大学短期大学部
TAKASAKI UNIVERSITY OF COMMERCE & JUNIOR COLLEGE

TUC

「全国大学ビブリオバトル2025関東Dブロック予選・決戦大会」を開催しました!

11月2日(日)に「全国大学ビブリオバトル関東Dブロック予選・決戦大会」を開催しました。
今年度は、群馬県大学図書館協議会で予選大会を同日開催し、決戦大会への出場機会が増えました。
会場は群馬県立図書館3階ホール。企画・運営は本学図書館サポーターの学生が行いました。

決戦大会は同日開催の予選大会から出場した小此木さん、各大学の予選大会から進出した4名、あわせて5名のバトラーの発表がありました。関東Dブロック決戦の参加者は高崎商科大学松本さん、竹本さん、渡邊さん、群馬大学松浦さん、テクノ・ホルティ園芸専門学校小此木さんです。司会は本学図書館サポーターの橋本さんです。



5人の紹介した本は以下の通りです。

- 「流星の絆」東野圭吾/著 講談社文庫
- 「悪い本」宮部みゆき/著 岩崎書店
- 「倒錯の帰結」折原一/著 講談社文庫
- 「パリのすてきなおじさん」金井真紀/著 柏書房
- 「とんこつQ&A」今村夏子/著 講談社

決戦大会でも、観覧者はバトラーの発表にメモを取りながら聞き入っていました。バトラーも5分間で本の魅力を伝えるべく、会場全体に向けて発表します。どの本も興味を持つ紹介で、観覧者も読みたい本が増えたようでした。



その後、「最も読みたくなった本」に1票を投票し、決戦大会でチャンプ本に輝いたのは、「とんこつQ&A」今村夏子/著 講談社 でした。



<各予選会>

① ブロック予選主催団体：高崎商科大学図書館サポーターA・B・C

開催日時：2025年9月17日(水)13:30～

開催場所：高崎商科大学

https://www.tuc.ac.jp/news/2025/250923_2464.html



高崎商科大学
高崎商科大学短期大学部
TUC

TUCビブリオバトル2025予選大会を開催しました

9月17日（水）、TUCビブリオバトル2025予選大会を、本学で開催しました。

ビブリオバトルとは本の紹介コミュニケーションゲームで、本を通して人とつながるイベントです。

本大会は全国大学ビブリオバトル関東Dブロックの予選大会として開催されました。

紹介したい本を持って集まり、本の紹介を5分間、その後ディスカッション（質問タイム）を2分間行います。

企画・運営は、本学図書館サポーターの学生が行い、13名の学生が参加して行われました。



学生は自分がおすすめしたい本を自分の言葉だけで伝えます。

原稿やレジュメ、プレゼン資料は使いません。

今回、学生が紹介した作品のジャンルは様々で、文学作品、ミステリー、自己啓発本、社会科学など興味を惹くものばかりです。

配布したメモ用紙に自分の感想や発表者の推しポイントを記入しながら、読みたい本を探します。

ディスカッションタイムでは、発表を受けて本を読んで一番に残った点や、おすすめポイントなどの質問が上がり、

観覧者も本に対する興味関心が深まっていたようです。

全員の発表が終わり、「どの本が一番読みたくなかったか」を基準に投票を行いました。

結果は・・・

「流星の絆 / 東野圭吾 著 / 講談社文庫」

「パリのすてきなおじさん / 金井真紀 文・絵 広岡 裕児 案内 / 柏書房」

「悪い本 / 宮部みゆき 作 吉田尚令 絵 東雅夫 編 / 岩崎書店」

この3冊がチャンプ本に選ばれました。

バトラーの3人には賞状が授与され、全国大学ビブリオバトル2025関東Dブロック決戦の出場権を獲得しました。



② ブロック予選主催団体:群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

開催日時:9月29日(月)14:00~15:20

開催場所:群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

<https://blog.media.gunma-u.ac.jp/?p=1677>

群馬大学総合情報メディアセンター図書館ブログ

全国大学ビブリオバトル2025関東Dブロック予選を
開催しました

こんにちは、中央図書館です。

9/29（月）に、中央図書館2階学習室にて、ビブリオバトル（全国大学ビブリオバトル2025関東Dブロック予選）を開催しました。

今回は、群馬県内在住または在学の大学生・大学院生・短大生・高専生・専門学校生も参加できる「オープン開催」とし、バトルとして3名の学生さん（事情により当日1名欠席）が登壇しました。

自分を1冊の本にしたらどんな本になるでしょう？という問いかけから始まり、平凡な人生が精緻に描かれることで、今の自分が共感できる部分があり、一人の人物の生き方に没入できると紹介された『ストーナー』。

本が映画化・アニメ化されてから話題になることがあることにモヤモヤを抱え、本には本でしか表現できない表現がある！映像化は絶対できないと、物理的に様々な仕掛けが施された1冊として紹介された、ミステリー小説『倒錯の帰結』。

主人公がモンスターと人間との共存を目指す物語は、バトルや友情などの少年漫画的な楽しさだけでなく、優しさを感じるところが魅力として紹介された『転生したらスライムだった件』。



三者三様でまったくジャンルの異なる作品が並ぶなか、観覧者11名とバトルの皆さんから選ばれたチャンプ本は『倒錯の帰結』となりました。チャンプ本に選ばれた松浦さん（群馬大学教育学研究科1年）は、11/2に群馬県立図書館で開催される関東Dブロック決戦※への出場権を獲得しました！おめでとうございます！

なお、参加者からは、以下のようなコメントが寄せられました。

- 紹介された本はどれも読んでみたくまりました。
- 色々な視点から、本を読むことの楽しさを感じました。迷いましたが、つづきの説明を聞きたいと思った本を選びました。
- 普段読むことがないジャンルの本を紹介していただいたので楽しい時間を過ごせました。また参加したいです。
- 日ごろ自分が手にとらないような本ばかりだったので、本を選ぶ視野が広がりよかったです。

『ストーナー』について

- あえて「平凡」な人生を描いた作品を取り上げるとは…。すばらしいチョイス！
- 自分の生き方とくらべて読み進めていくと、著者の人生はどんなものを選びとってきたのか、読んでみたいと思いました。
- ありきたりの人生でも、面白い、つまらないではないというのが良かった。没入感が高い点も気になった。

『倒錯の帰結』について

- 袋とじのある文庫本というのはとても斬新で、手にとりたいと思った。
- 私自身が常識だと思っていたことは違うこともあると知り、本の多様性を知るとてもよい機会でした。
- 映像化できない、本でしか得ることができないということに興味がありました。
- 本で読むことの楽しみ、トリックが興味をひきました。お店でその説明を聞いたら買ってしまおうと思います！

『転生したらスライムだった件』について

- 有名な作品なのでタイトルだけは知っていたが、あらすじを聞いて読んでみたいと思った。発表者がどんな点を気に入っているのか分かりやすかった。
- 内容の魅力がよく伝わってきました！読んだことのないジャンルだけど読んでみようかな...と思いました。
- 主人公に対する思いに共感しました。

紹介された本を読んでみたくなったという方が多かったようですね。パトラー皆さんが魅力を感じる箇所には、その人らしさも表れているように感じます。素敵な発表をありがとうございました！

普段あまり本を読まない、どんな本を読んだら良いのか分からない...という方も、まずはビブリオバトルに「観覧」という形で参加してみてもいいのではないでしょうか？

<ビブリオバトルで紹介された本> ※いずれも図書未所蔵（2025/9/29現在）

- ・『ストーカー』 ジョン・ウィリアムズ 著/東江一紀 訳
- ・『倒錯の帰結』 折原一 著 ★チャンプ本
- ・『転生したらスライムだった件』 伏瀬 著

③ ブロック予選主催団体：群馬県大学図書館協議会

開催日時：11月2日(日) 13:00~14:30

開催場所：群馬県立図書館

https://www.tuc.ac.jp/news/2025/251111_2500.html

会場には観覧者の皆さんが多く集まり、どんな本が紹介されるのか期待も高まります。

まずは予選大会が行われました。

ビブリオバトル公式ルールと大会レギュレーションに基づき大会は運営されます。

関東Dブロック予選大会に参加したのは、高崎商科大学宮田さん、育英大学黛さん、テクノ・ホルティ園芸専門学校小此木さん、育英大学黛さん、群馬大学荒川さん（発表順）です。

司会は本学図書館サポーター荻谷さんです。



4人が紹介した本は、次の4冊です。

「しりたいこと図鑑」 みっけ/著 KADOKAWA

「花田少年史」 一色まこと/著 講談社

「とんこつQ&A」 今村夏子/著 講談社

「屈辱ポンチ」 町田康/著 講談社



4人のパトラーは5分間の持ち時間の中で、本の魅力や自分の心に残った点などを発表しました。

発表する中で、身振り手振りを交えたり、観覧者に質問したりしながら本の魅力を伝えます。

その後、観覧者はパトラーの発表から興味を持った点をディスカッションタイムでパトラーに質問します。

質問に答える中で、観覧者が興味を持った視点に答えてもらったり、楽しめる1冊であることが伝わり、読書の魅力を会場全体で共有することができました。

ビブリオバトルはこの時間も貴重な楽しい時間です。

そして、パトラーと観覧者で「最も読みたくなった本」に1票を投票しました。

最も読みたくなった「チャンプ本」は、

小此木さんが紹介した「とんこつQ&A」今村夏子/著 でした。

小此木さんは関東Dブロック決戦の出場権を獲得しました。

<関東Eブロック決戦>

ブロック決戦主催団体: Kat'n Bac

開催日時: 2025年11月2日(日) 16:00~

開催場所: 紀伊國屋書店新宿本店

<各予選会>

① ブロック予選主催団体: 個人(ビブリオバトル普及委員会理事) 開催 A・B

開催日時: 2025年10月5日(日) 10:15-12:00

開催場所: 日比谷図書文化館 セミナールーム A

② ブロック予選主催団体: 青山学院大学万代記念図書館

開催日時: 2025年10月11日(土) 14:00~

開催場所: 青山学院大学 万代記念図書

https://www.agulin.aoyama.ac.jp/blogs/blog_entries/view/85/091c5dc920ad8bc46779f37d0aa82011?frame_id=338



青山学院大学図書館

Aoyama Gakuin University Library

チャンプ本決定! 「ビブリオバトル in 万代記念図書館2025」

2025年10月11日（土）の相模原祭初日に「ビブリオバトル in 万代記念図書館」を開催いたしました。
欠席者がいたため当日の発表者は3名となりましたが、会場にはたくさんの観戦者にお越しいただき、盛況のうちに開催することができました。

紹介された本の一覧・結果は以下のとおりです。（🏆はチャンプ本です）

🏆小山 宙哉 著 『宇宙兄弟』 山田 佳音さん（青山学院大学 国際政治経済学部 国際政治学科 1年）

芦沢 央 著 『火のないところに煙は』 HOANG DO MIN H DIENさん（青山学院大学 文学部 英米文学科 4年）

木原 音瀬 著 『美しいこと』 山下 莉佳さん（立教大学 社会学部 社会学科 4年）

万代記念図書館館長升本先生とバトルの皆様



③ **ブロック予選主催団体：千葉大学ビブリオバトル実行委員会 C**

開催日時：2025年10月21日（火）午後2時半から午後4時

開催場所：千葉大学中央図書館オープンスペース

④ **ブロック予選主催団体：千葉大学ビブリオバトル実行委員会 B**

開催日時：2025年10月28日（火）午後2時半から午後4時

開催場所：千葉大学中央図書館オープンスペース